

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		自衛官募集事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男							
	施策	13	雇用対策の推進			所属課	総務課	担当者名	谷本洋美							
	基本事業	37	就業機会の確保			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218							
予算科目	会計	1	款	16	項	3	目	1	事業連番	-	法令根拠	自衛隊法第97条第1項	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	委託事務である自衛官募集の受け付け事務 自衛隊法の制定 毎年、入隊者数に変動はあるが、一定の成果を収めている
【業務の流れ】	①募集案内のポスター、リーフレット等の掲示 ②広報紙へ募集記事の掲載 ③担当者研修会への参加 ④募集看板の設置 ⑤新入隊者合同激励会への参加
【主な予算費目】	需用費・委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特にない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 募集案内のポスター、リーフレット等の掲示、広報紙へ募集記事の掲載、担当者研修会への参加、募集看板の設置、新入隊者合同激励会への参加	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 募集案内のポスター、リーフレット等の掲示、広報紙へ募集記事の掲載、担当者研修会への参加、募集看板の設置、新入隊者合同激励会への参加
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア 自衛官募集広報紙掲載	(単位) 回 イ 担当者会議
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 18歳以上27歳未満の市民	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ア 18歳以上27歳未満の市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自衛隊を多くの市民に知ってもらい、入隊希望者を募る。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ア 応募者数
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		3	4	3	5	5	3	
	イ 回		1	1	1	1	1	1	
⑤ 対象指標	ア 人		5670	5977	5660	5938	5640	5640	
	イ 人								
⑥ 成果指標	ア 人		78	74	100	97	100	100	
	イ 人								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2	2	
	延べ業務時間	時間	25	20	20	20	20	20	
	(B)人件費計	千円	99	80	80	80	80	80	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	99	80	80	80	80	80	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	自衛官募集事務	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 毎年、ある程度の応募者数、入隊者数がある。今後も広報に務めて応募者を募りたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 法定受託事務であり、募集事務地方公共団体委託費から支給される。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 18歳以上27歳未満の全市民対象であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 国から受託している事務であり、住民等への移行は出来ない。

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度も広報への掲載、ポスター掲示を行いある程度の応募者数、入隊者数があった。今後、団塊の世代の退職等があり募集人員が増えるため、更なる広報に務めて応募者を募りたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策なし。